

財務比率の指標について

項目	算式	評価	
人件費比率	人件費／事業活動収入	▼	人件費の収入に対する割合を示す。この比率が高くなると、支出全体を膨張させ収支の悪化を招きやすい。
人件費依存率	人件費／学費収入	▼	人件費の学納金に対する割合を示す。学費収入の範囲内に納まっていること、100%を超えないことが経営上好ましい。
教育研究費比率	教育研究費／事業活動収入	△	教育研究経費の収入に対する割合。収支の均衡を失しないかぎり高いほうが望ましい。
組入前収支差額比率	組入前収支差額／事業活動収入	△	基本金組入前収支差額(経常収支)の収入に対する割合で、プラスで大きくなるほど経営に余裕がある。
学納金比率	学納金／事業活動収入	—	学費の収入に占める割合。安定的に推移することが望ましい。高水準で学費に依存するより相対的に低いほうがよい場合もある。
自己資金構成比率	自己資金／総資産	△	自己資金(基本金+収支差額)の総資産に占める割合。
繰越収支差額比率	繰越収支差額／総資産	△	累積収支の総資産に占める割合。
流動比率	流動資産／流動負債	△	1年以内に償還しなければならない流動負債に対し現預金等がどの程度用意されているか。200%以上であれば優良で、100%を切っていれば資金繰りに窮している。
総負債比率	総負債／総資産	▼	総資産に対する他人資本の比重を評価する。100%を超えると負債が資産を上回る、債務超過となる。

(注)評価について

▼:低い方がよい

△:高い方がよい